

記者発表資料

令和6年9月10日

精神保健推進室 精神保健推進班

担当：鶴若 電話：022-211-2518

宮城県精神保健福祉センター 企画・地域支援班

担当：三浦 電話：0229-23-1657

E-mail: seishin@pref.miyagi.lg.jp

令和6年度宮城県心のサポーター養成研修開催のお知らせ

本県が主催する「令和6年度心のサポーター養成研修」の開催についてお知らせします。

本研修は、こころの不調や精神疾患に関する正しい知識と理解を持ち、家族や友人、同僚などの身近な人に対して傾聴を中心とした支援ができる「心のサポーター」の養成を目的とした研修です。

本県では、今年度から「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（略して「にも包括」という。）の構築に力を入れており、本研修は、その取組の重要な柱の一つとして位置付けています。

研修をとおして、精神疾患を抱える人に対する差別や偏見をなくし、自分自身や周囲の人のこころの不調の早期発見やサポートのための知識を習得することが期待されます。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発などが包括的に確保されたシステム。

厚生労働省では、高齢者の地域包括ケアシステムと同様に、精神障害や精神保健に関する課題を抱えている方にとっても、安心して暮らせる地域づくりを目指すため、日常生活圏域を基本として、市町村などの基礎自治体を基盤として整備を進めています。

■ 日 時

令和6年9月17日（火）午後1時30分から午後3時30分まで（午後1時から受付開始）

■ 場 所

公益財団法人宮城県市町村振興協会 研修室（宮城県自治会館9階）

■ 主 催

宮城県精神保健福祉センター

■ 参加者

事前申込のあった68名（県内の市町村や福祉関係施設などの職員）

■ 内 容

- （1）講義・グループワーク「こころのサポーターの紹介、こころの病気の実際、こころの病気からの回復、こころをサポートする方法など」〔90分〕
- （2）講義「こころの病気について学ぶ」〔30分〕

■ 講 師

宮城大学看護学群 准教授 小松容子氏

■ 受講認定証等の交付等

- 所定の研修を修了した受講者には、県から「受講認定証」と「宮城県オリジナルピンバッチ」（下記参照）を交付します。

① 「受講認定証」（A4 サイズ）



② 「宮城県オリジナルピンバッチ」



- 宮城県では、2024年度から2033年度までの10年間で2万人の心のサポーターの養成を目指しています。

■ 留意事項

- 本研修の資料等については、厚生労働省により無断転載が禁じられているため、カメラ等による撮影及び録音は、開会から講義冒頭の「指導者の自己紹介」までとなります（「指導者の自己紹介」以降の講義・グループワークの撮影及び録音はできませんので、あらかじめ御了承願います。）。
- 受講者に対して個別に取材を行う場合は、御本人に取材の可否について確認していただくようお願いいたします。